

第6次白鷹町総合計画について

平成30年8月
白鷹町企画政策課

総合計画の概要



1. 総合計画策定の趣旨等

- 総合計画は、効果的かつ効率的な行政運営を実施するため、**総合的な指針としての役割**を果たすもの。いわば「白鷹町」という船の、今後の行先や進み方を指し示す「羅針盤」。
- 施策の基礎となる役割を果たし、各行政部門で進める各種施策は、この総合計画の目標・方向性に沿って行われるもの。
- 行政が一方向的に計画を作るものではなく、**住民が主体となり、まちづくりに参画する計画**とすることが重要。

2. 総合計画の構成と目標期間

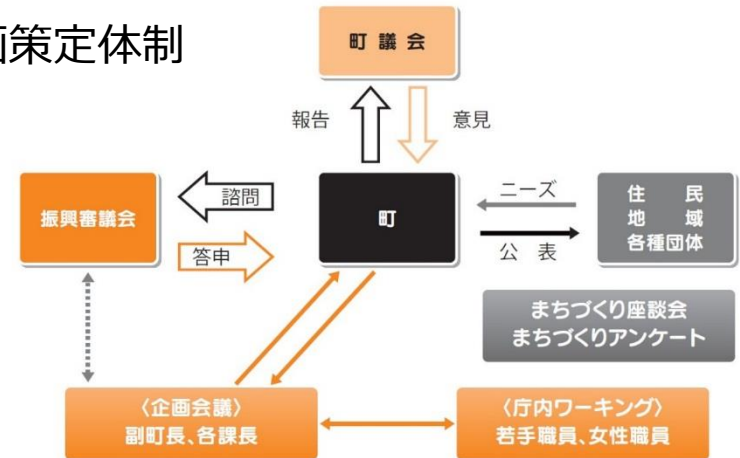
基本構想

- まちづくりのあり方やまちの姿といった共有すべき目標（**基本理念・将来像**）を示すもの
- 期間は**10年間**（5次総合計画はH22~H31、**6次総合計画はH32~H41**）

基本計画

- 基本構想を実現するための基本的な「**施策の体系**」と「**各施策の方向**」を示すもの
- 期間は**10年間**（5次総合計画はH22~H26を前期、**H27~H31を後期**）

3. 計画策定体制



振興実施計画

- 基本計画を受けて、実施する**具体的な事業の内容**を示すもの
- 期間は**3年間**（ただし、計画の改定を毎年のサイクルで繰り返す）

総合計画の概要

5. 第6次白鷹町総合計画策定に当たって

我が国を取り巻く情勢

- 国レベルで人口減少・少子化、高齢化、東京一極集中
- 地方では都市部に先んじて人口減少が深刻
- 中小企業・小規模事業者をはじめとした人手不足の深刻化
- 幼児教育無償化、高齢者雇用の拡大、働き方改革の推進、新たな外国人材の受け入れ
- 新サービスの創出、データ連携やAI、IoT（モノのインターネット）等の活用
- 2019年10月の消費税引き上げと用途変更による教育負担の軽減
- 森林環境譲与税の創設、新たな森林管理システム導入、やまがた森林ノミクスの推進
- 2020東京オリンピック・パラリンピック
- コンパクトシティの考え方、広域連携の推進（定住自立圏構想、地方中枢拠点都市構想）

...

まちづくりアンケートの概要について

アンケート調査の概要

- 町内に居住する全世帯（約4,700世帯）に町内長を通じた文書配付、郵送回収、併せてメールによる回答も可能としました。
- 平成30年2月22日文書配付、3月30日締切
- 回収数1,004票（回収率21.4%）
- 町の実施に対する満足度、今後の重要度などの調査

満足度と重要度について

(満足度・重要度の分析の見方)

町の仕事、サービスに対する町民の満足度と重要度の分析において、以下のとおり回答結果を得点化しています。

選択肢に点数を付し、その平均値を求め、満足度と重要度を数値化することによって項目ごとに比較できるようにしています。

満足度	重要度	点数
満足	重要	4点
やや満足	やや重要	2点
どちらともいえない	どちらともいえない	0点
やや不満	あまり重要ではない	△2点
不満	重要でない	△4点

※計算式 (加重平均)

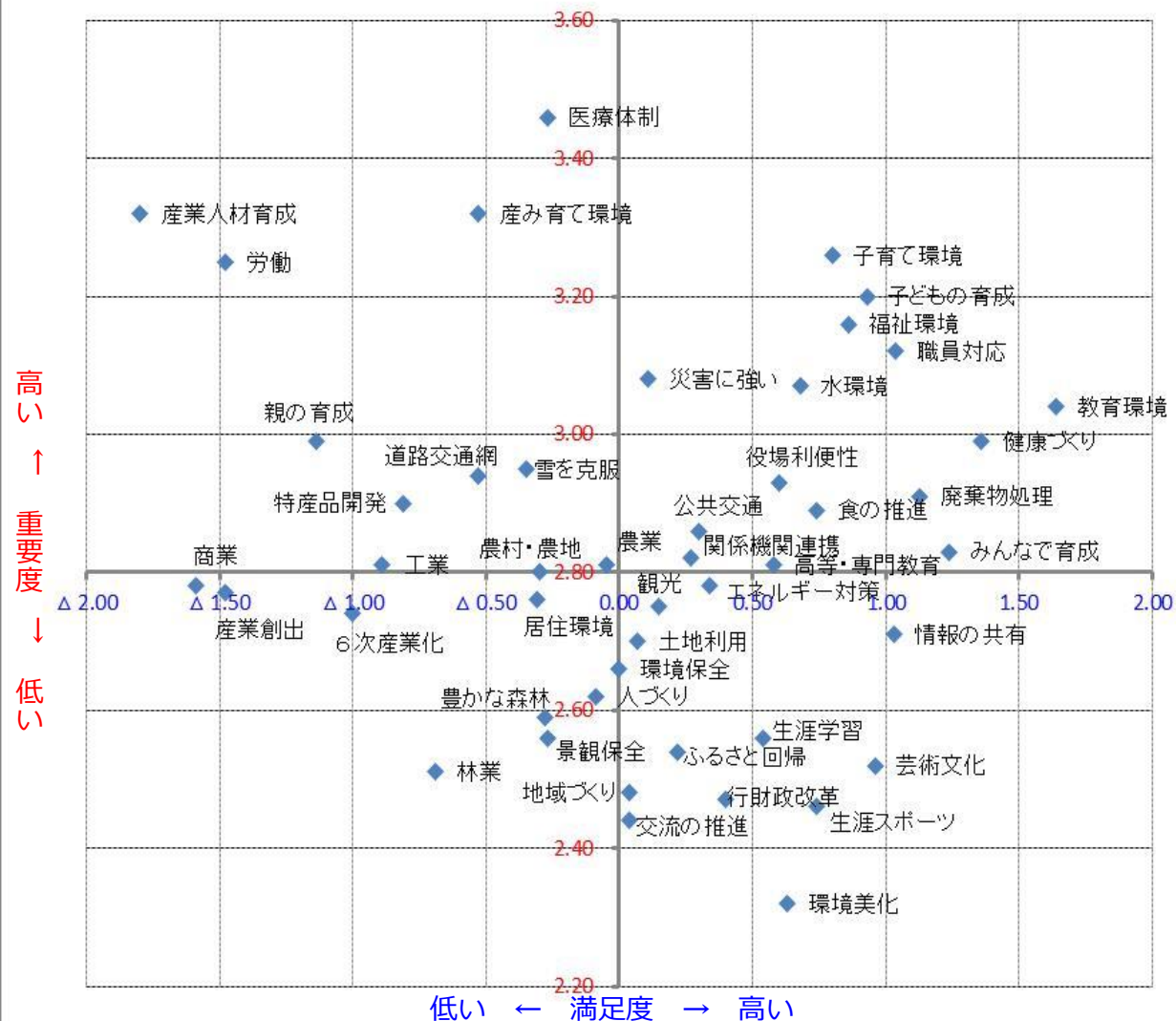
満足度 = { (「満足」の数 × 4点) + (「やや満足」の数 × 2点) + (「やや不満」の数 × △2点) + (「不満である」の数 × △4点) } ÷ (「どちらともいえない」を除く有効回答数)

重要度 = { (「重要」の数 × 4点) + (「やや重要」の数 × 2点) + (「あまり重要ではない」の数 × △2点) + (「重要ではない」の数 × △4点) } ÷ (「どちらともいえない」を除く有効回答数)

満足度と重要度の相関図

【政策改善分野（重要度高、満足度低）】

【政策維持分野（重要度、満足度とも高）】

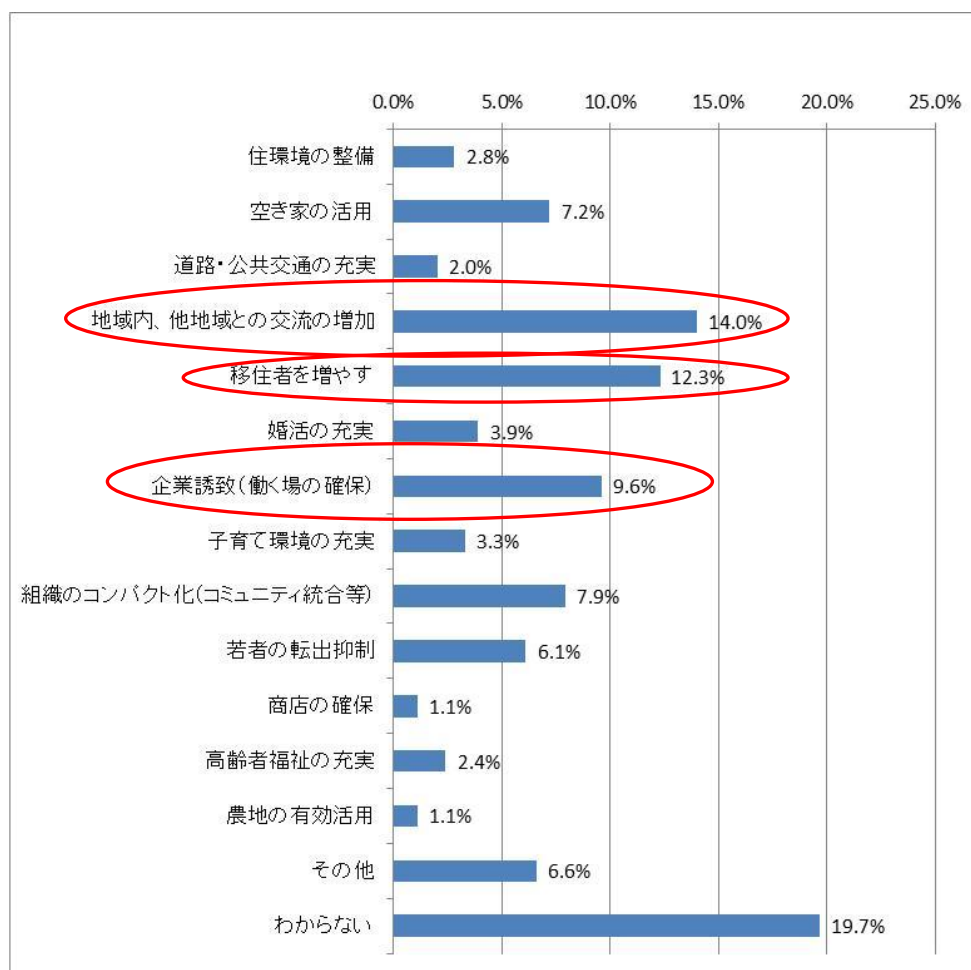


お住まいの集落について

あなたのお住まいの集落を今後も維持していくために、あなたならどのようなことをしますか（記述式）。

回答項目	回答者数	構成比
住環境の整備	13	2.8%
空き家の活用	33	7.2%
道路・公共交通の充実	9	2.0%
地域内、他地域との交流の増加	64	14.0%
移住者を増やす	56	12.3%
婚活の充実	18	3.9%
企業誘致（働く場の確保）	44	9.6%
子育て環境の充実	15	3.3%
組織のコンパクト化（コミュニティ統合等）	36	7.9%
若者の転出抑制	28	6.1%
商店の確保	5	1.1%
高齢者福祉の充実	11	2.4%
農地の有効活用	5	1.1%
その他	30	6.6%
わからない	90	19.7%
合計	457	100.0%

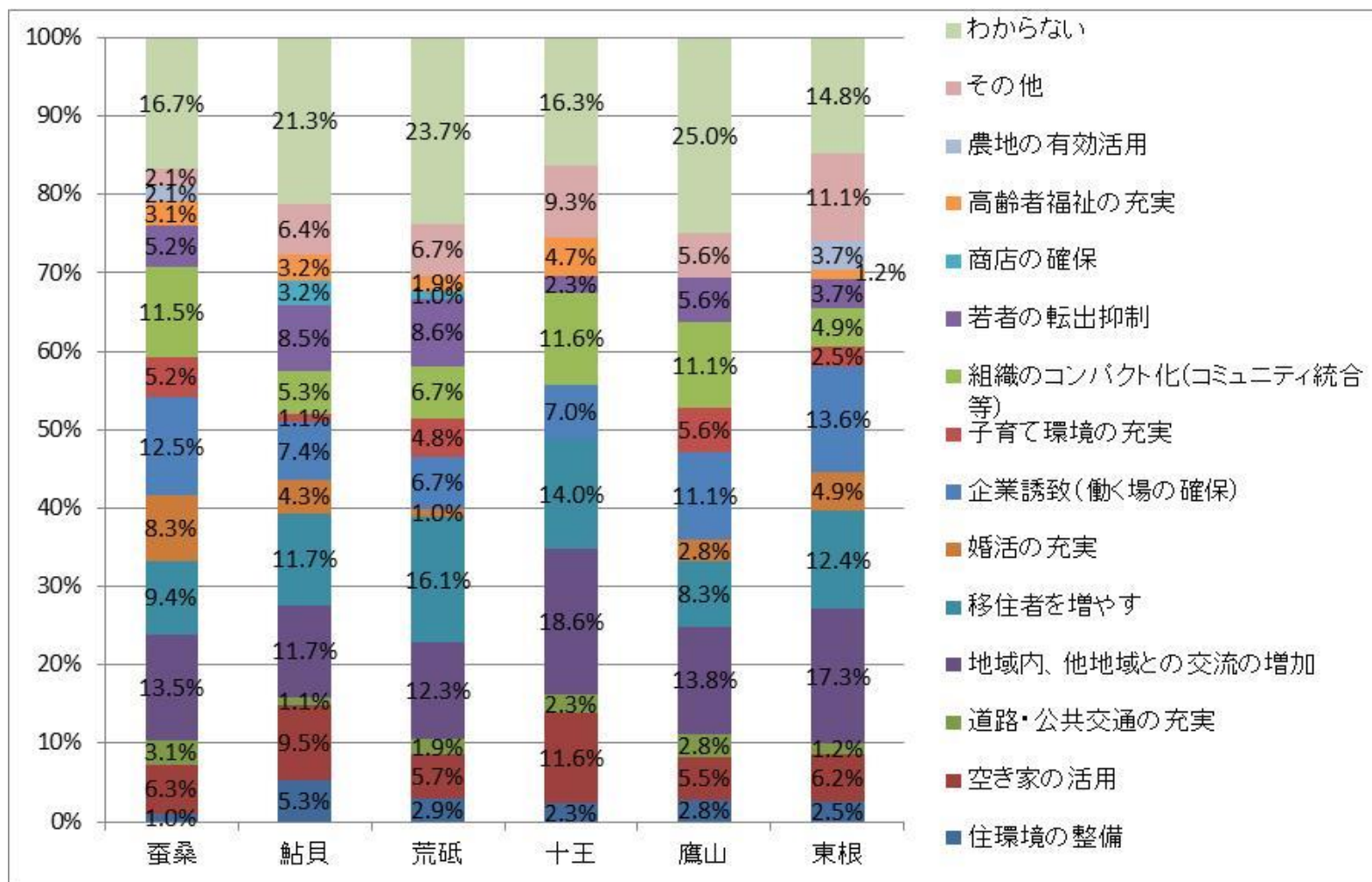
注）「記載なし」547件は除いて掲載しています。



「わからない」19.7%に次いで、「地域内、他地域との交流の増加」が14.0%と高く、「移住者を増やす」が12.3%、「企業誘致（働く場の確保）」9.6%と続いています。

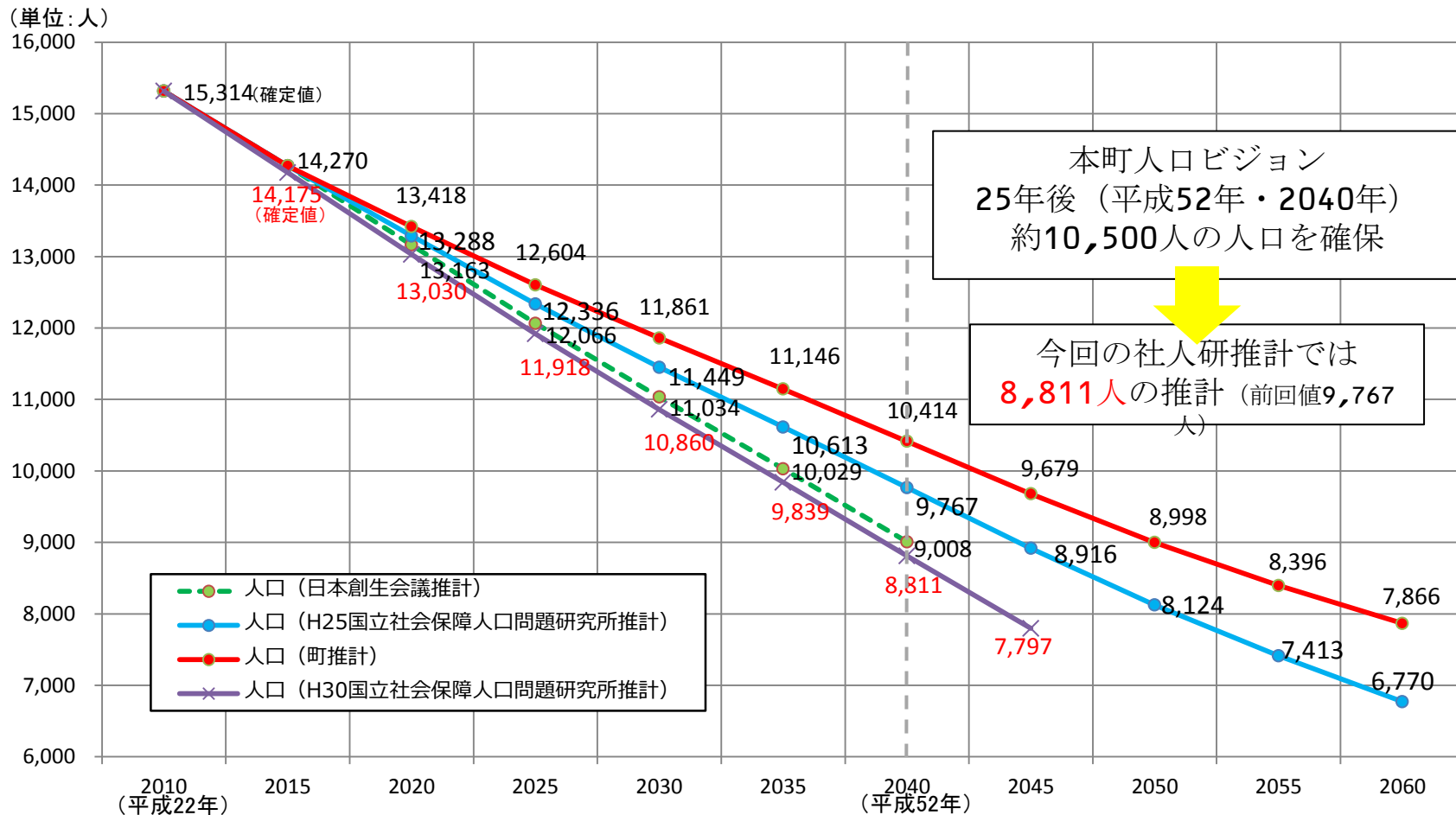
お住まいの集落について

居住地区別の回答については、次のとおりです。



人口の将来展望（H30社人研推計を追加（紫色））

- 平成27年に策定した白鷹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョンでは、合計特殊出生率の向上、移住者の増加により、**将来展望として、2020年（H32）では13,500人程度、2040年（H52）では10,500人程度を確保**するとしたところ。
- 一方、今回社人研が推計した本町の人口は、**前回の推計を下回る数値**であり、2040年で8,811人（前回比約10%減）。
- 人口ビジョンの将来展望達成のためには、**人口減少に歯止めをかける対策をより強化する必要あり**。



出典：白鷹町まち・ひと・しごと創生人口ビジョン、国立社会保障・人口問題研究所作成資料

注）「H25国立社会保障人口問題研究所推計」の2045年以降の数値は、白鷹町まち・ひと・しごと創生総合戦略策定委員会の推計による数値。